

平成27年度 学校要覧



ふるさとの歌

木村次郎 詩
丸山亜季 曲

水の上 雲流れ
水の底 石歌う
草深く 牛眠り
ひまわりは もえめぐる
山々よ 野よ川よ
光まえ 風よふけ
さけぶとき そのこだま
地のはてに ひびきゆき
水の上 雲流れ
水の底 石歌う

伊勢崎市立境島小学校

〒370-0134

群馬県伊勢崎市境島村1968番地40

TEL 0270-74-9346 FAX 0270-74-9366

e-mail sakaishimasyo@isesaki-school.ed.jp



I 学校沿革の概要

明治	6.	8.	8	第1大学区第17番中学区第111番小学校区島村小学校を仮に島村字前島宗厳寺に設立し、これに第112番を合併する。
	8.	3.	1	島村小学校新築、開校式を行う。群馬県より時計1ヶ下賜される。
	15.	12.	16	那波郡前河原村、佐位郡島村に合併する。
	43.	7.	26	増築校舎竣工移転をする。
大正	4.	5.	1	前島校舎より新地校舎へ移転する。
	11.	10.	30	第1回記念大運動会を行う。
	13.	2.		第1回学芸発表会を開く。
昭和	22.	4.	1	新制中学校発足。島小学校校舎内に併設開校する。
	23.	1.	16	島小学校PTA発足する。
	30.	3.	1	島村が境町へ合併。境町立島小学校となる。
	31.	2.		島小・島中給食開始。(5日制完全給食、給食費小学校200円、中学校250円)
	41.	10.	29	旧島中学校校舎へ島小学校移転をする。
	46.	8.	9	プール落成式
	47.	11.	4	島小学校開校100年記念事業を実施する。
	58.	1.	12	屋内運動場(体育館)落成式
平成	5.	3.	22	島小学校校舎改築落成式
	6.	9.	3	築山の遊具(アスレチック)設置
	7.	1.	28	田島弥太郎博士(島小出身、元国立遺伝学研究所長)の講演会
	7.	11.	2	親子20分間読書運動の発表
	10.	7.	17	給食コンテナ室完成
	11.	9.	30	コンピュータ教室完成
	12.	8.	29	放送スタジオ完成
	13.	9.		境町より金管楽器導入。金管バンド始まる。
	13.	9.	15	蚕種交流記念式典挙行(イタリアよりザニエル教授ほか7名来校)
	14.	11.	10	町の産業祭に金管バンド出演
	16.	3.	31	プレハブ教室(音楽室)竣工
	16.	10.	1	校内LANが整備され稼働する。
	17.	1.	1	学校名が伊勢崎市立境島小学校となる。
	20.	2.	4	第5回21世紀ぐんま教育賞「あすなろ賞(教職員の部)」優秀賞受賞
	22.	7.	16	第8回ホームページJ-KIDS大賞群馬県最優秀校受賞
	24.	6.	15	プール内面塗替、プールサイド補修
	24.	8.	31	普通教室・特別教室エアコン設置、キュービクル増設
	25.	8.	31	雨水浸透枳改修工事
	26.	2.	28	木製アスレチック老朽化により撤去、登り棒、すべり台新設
	27.	2.	28	ブランコ移転・新設

II 学校経営の大綱

1 学校教育目標

「心身ともに豊かで、たくましく、自ら学び、自立できる子ども」の育成

◎目指す児童像

- (1) しんげんに学び、自ら考える子 (知)
- (2) まっすぐ伸びる、心の豊かな子 (徳)
- (3) こつこつ努力し、たくましく生きる子 (体)

◎目指す学校像

《児童一人一人がめあてをもち、自ら学び、自己実現が図れる、活力ある学校》

みんなで考え、みんなで取り組み、みんなで作る

児童と教師、保護者、地域が力を合わせ、元気に生き生きと活動し、育ち合える学校

2 学校経営上の課題

- (1) 確かな学力の定着にむけた教育活動の推進
- (2) 健康な体、豊かな心を持った児童の育成
- (3) 子どもにやる気を起こさせる生徒指導の推進
- (4) 完全複式学級に対応した教育課程の編成・実施・改善
- (5) 教職員の資質向上のための研修の充実
- (6) 保護者・地域の信頼と期待に応える学校づくり

3 学校経営の方針

本校の特性と時代の要請を踏まえた、「島小の教育」の創造と推進を行い、「確かな学力」の定着と「豊かな人間性」の育成、「健康・体力」の向上を図る。

- (1) 人間としての全体的な発達を目指しながら、少人数という特性にたって、基礎的・基本的な内容を児童の個性や能力に応じて指導し、質的に充実した教育活動が行える教育課程を創造する。
- (2) 危機管理の徹底を図った、安全で生き生きとした学校づくり、明るい笑顔と元気なあいさつ、歌声の響く学校づくりを推進し、豊かな感性と心の教育の充実に努める。
- (3) 家庭・地域と連携して、児童の生活習慣・運動習慣の確立を目指し、心身ともに健康な児童の育成に努める。
- (4) 地域の施設・団体との連携、地域の人材活用等、地域の教育力を積極的に取り入れ、地域の教育力を積極的に取り入れ、地域の教育力を生かした開かれた学校づくりを推進する。

4 本年度の努力点

自ら学ぶ力の育成 <学カパワーアッププランの推進>

1 考え表現する力づくり（聞く・考える・話す力を育てる）

- 「教えて考えさせる授業」の展開を通して、「わかる」「できる」「たのしい」授業の実践
- 5wordsを重視した授業に取り組み、特に「なぜ？」という問いを中心に据えた指導過程による考える力の育成
- 児童の学習状況の的確な把握、実態に応じた学習支援の組織的な取組
- 毎日継続して鍛えるパワーアップタイムの工夫
- ICT機器の積極的な活用
- 学習ルール(10の約束)をしっかり身に付けさせ、自学自習のできる児童の育成

2 英語力づくり（少人数学級のメリット生かした個に応じた支援の充実）

- ALTと連携した英語授業の質の向上と評価の工夫
- 表現活動の設定によるコミュニケーション能力の育成

3 家庭学習づくり（繰り返し学習の推進と補充指導の充実）

- 自主学习ノートの「家庭学習・生活カード」を活用し、「低学年30分・中学年60分・高学年90分」以上の家庭学習(目安として)
- 授業と連動した宿題の工夫、「生活カード」や「赤ペン先生」の活用など、家庭と連携した家庭学習の工夫・改善

豊かな心・健康な体の育成 <「愛」燦々プランの推進>

1 温かい学級づくり（学ぼうとする意思や学習意欲の喚起）

- 授業中における「ほめる」「認める」「励ます」等の日常的な言葉かけ、満足感や自己肯定感を味わわせる指導の工夫
- 学級担任や読み聞かせボランティア活用による全校体勢の読書指導等、児童の心を耕す読書活動の推進
- 規範行動を育てる自然体験、社会体験の工夫
- 教育相談、特別支援教育の充実

2 きれいな学校づくり（5Sを意識した生活習慣）

- 元気なあいさつと返事、話をしっかり聞く姿勢、時間やきまりを守るなど、集団の関わりを通して習慣化の徹底
- しっかり清掃で清掃の仕方を身に付けさせ、教室やトイレの環境づくりに取り組む意欲の育成(トイレカビカ作戦)
- 児童会による「エコキャップ回収活動」(福祉、国際理解)の継続

3 健康な体づくり（食育の推進と体力の向上）

- 「家庭学習・生活カード」、「早寝早起き朝ごはん」運動の継続、肥満予防の推進、家庭における「共食」の呼びかけ等による食育の推進
- 運動の時間を位置づけた校時表の工夫
- 健康診断における治療率の改善
- 地域や家庭の協力の下、児童が歩いて登下校できる安全・安心の確保

夢や希望づくり <地域の学校いきいきプランの推進>

1 夢や希望づくり（学校と地域の関わりから学ぶ）

- 地域の人や物(産業・歴史など)を活用したふるさと学習を展開し、体験的な活動を通して地域との交流を深める。
- 高学年の自覚、背中を見て育つ児童の関係、リーダーシップとフォロアーシップを意識できる児童を育てる。

2 やる気と元気づくり（地域の中の学校）

- 地域行事への積極的な参加など、地域との連携の促進
- 保護者や地域と協働した学びづくり(学校支援ボランティア)

3 魅力ある学びづくり（大学・企業との連携）

- 大学や企業との協働、専門的な知識・技能に触れる機会の充実

4 信頼される学校づくり（学校運営の充実）

- 職員の特性を配慮した組織作り、組織の活性化
- 保護者・地域の信頼を図る学校評価システムの工夫・改善
- 校内公開研究授業(教員1人学期1回(年3回))の実施

Ⅲ 児童数と学級編成

(平成27年5月1日現在)

1 学級編成					2 町内(地区)別児童数							
学年	学級	男	女	計	地区名	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
1	1・2年1組	0	1	1	新地	0	0	0	2	0	2	4
2	(複式)	1	0	1	新野・新田	1	1	1	0	0	1	4
3	3・4年1組	1	0	1	立作・平塚	0	0	0	0	1	1	2
4	(複式)	1	1	2	区域外	0	0	0	0	0	0	0
5	5・6年1組	1	0	1								
6	(複式)	1	3	4								
計		5	5	10	計	1	1	1	2	1	4	10

Ⅳ 職員一覧

No.	職名	氏名	No.	職名	氏名
1	校長	小林 信二	9	複式解消非常勤講師 3年	小澤 めぐみ
2	教頭	峯岸 哲夫	10	複式解消非常勤講師 5年	亀田 厚子
3	1・2年 1組	栗原 千景	11	マイタウンティーチャー	大澤 七恵
4	3・4年 1組	石井 美和	12	図書館事務職員	伊藤 貞子
5	5・6年 1組	篠崎 孝一	13	外国語指導助手(ALT)	デイヴィット フリードバーグ
6	養護教諭	福澤 智加	14	小学校学習生活相談員	石田 由美子
7	事務主事	田中 あけみ	15	労務技士	齊藤 隆弘
8	複式解消非常勤講師 2年	松本 一美	16	スクールカウンセラー	田村 幸子

V 週時程

校時	時刻	月	火	水	木	金
朝の活動	8:20	すすくすくタイム⑮(読書)	集会活動⑮	すすくすくタイム⑮(読書)		
		読み聞かせ(高学年)		(計算・漢字チャレンジ)	読み聞かせ(低学年)	(計算・漢字チャレンジ)
1	8:35	健康観察・学級指導				
	8:45	(1)	(6)	(12)	(18)	(24)
2	9:30					
	9:35	(2)	(7)	(13)	(19)	(25)
3	10:20	休み時間 25分		運動集会	休み時間 25分	
	10:45	(3)	(8)	(14)	(20)	(26)
4	11:30					
	11:35	(4)	(9)	(15)	(21)	(27)
5	12:20	給食(35分)				
	12:55	清掃(15分)				
6	13:10	休み時間(20分)				
	13:30	ぐんぐんタイム⑮(習熟の時間)				
5	13:45	(5)	(10) 島っ子の時間	(16)	(22)	(28)
	14:30	5Sの時間⑮				5S⑮
6	14:35	帰りの会⑩	(11) 島っ子の時間	(17)	(23)	帰りの会⑩ ぐんぐんの時間(習熟・発展)
	14:45		5Sの時間⑮			5S⑮
6	15:20	帰りの会⑩			クラブ委員会	帰りの会⑩
	15:25					
6	15:35					

Ⅵ 児童の活動

1 代表委員会

2 専門委員会

体育・放送委員会
保健・飼育委員会

3 クラブ

(1) 前期(5月～9月)

運動クラブ

(2) 後期(10月～2月)

室内クラブ

Ⅶ 教室配置

